

各位

株式会社アオキスーパー

小さな挑戦！大きな未来♪
中部地方のスーパーマーケット初！
事業系の廃食用油を『SAF』の原料として供給開始

株式会社アオキスーパー(本社:愛知県名古屋市、以下「アオキスーパー」)は、日揮ホールディングス株式会社(本社:神奈川県横浜市、以下「日揮 HD」)、株式会社レボインターナショナル(本社:京都府京都市、以下「レボインターナショナル」)および合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY(本社:神奈川県横浜市、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」)との間で『廃食用油の継続的な供給および利用に関する基本合意書』(以下、「本合意」)を締結し、2025 年 8 月より SAF(Sustainable Aviation Fuel:持続可能な航空燃料)の原料として、惣菜製造時に出る事業系の廃食用油の供給を開始いたします。

本合意に基づき、アオキスーパー*の惣菜製造時に出る廃食用油はレボインターナショナルによって収集・運搬され、日揮 HD のグループ会社である SAFFAIRE SKY ENERGY が運営する SAF 製造プラントで航空機用の燃料にリサイクルされます。*30 店舗(直営惣菜店舗全店+惣菜テナントの一部)

アオキスーパー



【SAF(Sustainable Aviation Fuel:持続可能な航空燃料)】

最新の技術を用いると家庭や店舗で使用された食用油(廃食用油)から航空燃料をつくることができ、廃食用油より作られた航空燃料は SAF と呼ばれ、従来の航空燃料に比べて CO₂の排出量をおよそ 80%削減することができる。

【アオキスーパーが廃食用油を SAF の原料として供給する背景】

アオキスーパーは、食料品を取り扱う企業として、地球温暖化に伴う気候変動による農産物の栽培適地の変化や海水温上昇による水産資源への影響を深刻な問題として認識しております。

このような背景のもと、当社では持続可能な社会の実現に向け『小さな挑戦！大きな未来♪』および『未来の地球のために、今！できることを♪』という合言葉を掲げ、環境への配慮を意識した取り組みを推進しております。

【SAF に関するアオキスーパーの取り組み】

2025 年 7 月: [『あいち地産地消 SAF サプライチェーン推進協議会』参画](#)

[『Fry to Fly Project』参加](#)

2025 年 8 月: [日本航空\(JAL\)と連携し、ご家庭で使用済みの油を店頭回収・SAF の原料として供給開始](#)
[店舗の惣菜製造から出る『事業系の廃食油』を SAF の原料として供給開始\(本リリース\)](#)

【日揮ホールディングス株式会社】

“Enhancing planetary health” のパーパスのもと、エネルギーとインフラの分野を中心としたプラント・設備の設計・調達・建設・メンテナンスを行う「総合エンジニアリング事業」を主要ビジネスの一つとし、1928年の設立以降、日本国内のみならず世界各地で様々なプロジェクトを遂行してきた。今まで培ってきた実績やエンジニアリング技術、プロジェクトマネジメント力を礎に、長期経営ビジョン「2040年ビジョン」における「エネルギートランジション」をはじめとする5つのビジネス領域へと事業を多角化し自らの変革を進め、持続的な成長を果たしていくことを目指している。

設 立：1928年10月

所 在 地：神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1

事業内容：グループ戦略立案および事業会社の統括管理など

【株式会社レボインターナショナル】

バイオ燃料製造などを手掛ける環境ベンチャー企業で廃食用油を回収・再利用し、独自技術でバイオディーゼル燃料の製造やバイオ燃料の販売・輸出を行う

設 立：1999年10月（活動開始1995年8月）

所 在 地：京都府京都市下京区綾小路通烏丸東入ル竹屋之町252-1

事業内容：バイオ燃料事業、油脂資源開発、エンジニアリング事業など

【合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY】

日揮ホールディングス・コスモ石油・レボインターナショナルの3社が合同で2022年11月に設立大阪府堺市のコスモ石油堺製油所内にてSAF製造装置を完工、2025年4月にSAF供給開始を実現

設 立：2022年11月

所 在 地：神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1

事業内容：国産廃食用油を原料とするSAF、バイオナフサ、バイオディーゼルの製造および販売



「廃食用油を原料としたSAF製造装置（SAFFAIRE SKY ENERGY提供）」

アオキスーパーは、地球環境および資源・エネルギー問題への対応を最重要課題と捉え、今後も新たな視座と視点で事業を立ち上げた企業と共に社会課題の解決に挑戦し、持続可能な社会の実現と地球環境保全への貢献を目指してまいります。

以上